



真岡市自転車ネットワーク計画



概要版

令和2年4月 改訂版
真岡市





日本の自転車保有台数は、自動車と同程度の7,200万台（平成25年）であり、5km未満の移動の約2割に自転車が利用されており、都市内では重要な移動手段となっています。

自転車は、買い物や通勤、通学等、日常生活における身近な移動手段やサイクリング等のレジャーの手段として多くの人々に利用されており、近年はスポーツ車、電動アシスト車等の販売台数が増加傾向にあるなど、健康志向や環境保全への意識の高まり等を背景に、利用ニーズが益々高まりを見せています。

真岡市では、平成27年10月に「真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、安心して暮らしやすい地域をつくるため、「自転車ネットワーク事業」を掲げ、市内の官公庁、学校、主要な病院や商業施設等の生活拠点や観光、文化施設等を結ぶ道路を自転車ネットワーク路線として選定し、その路線における自転車通行空間の整備方法を検討するほか、自転車利用を促進する総合的な施策を検討し、安全で快適な自転車利用環境を効果的、効率的に整備を進めることを目的としています。

真岡市における現状と課題



④ 自転車利用の現状

真岡市は、全域的に平坦な地形で、日常的な自転車利用に適した地形となっています。また、市内には八溝山地や鬼怒川、五行川、小貝川が貫流しており、自転車のレジャー利用にも適した環境ですが、自転車の利用率は7%と周辺市と比べて低くなっています。

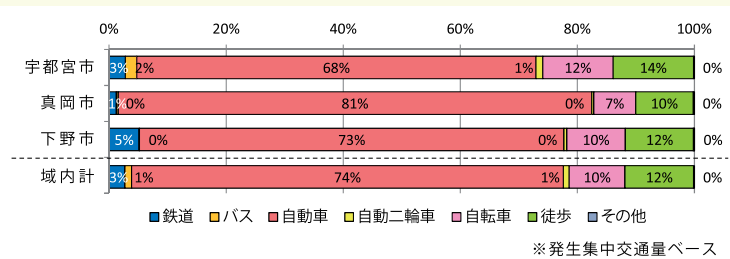


図1 市町村別の代表交通手段分担率（平成26年）

真岡市内の自転車事故の事故件数は減少傾向にあります。事故死者数は年間5人未満であるものの、死亡事故が発生している状況です。

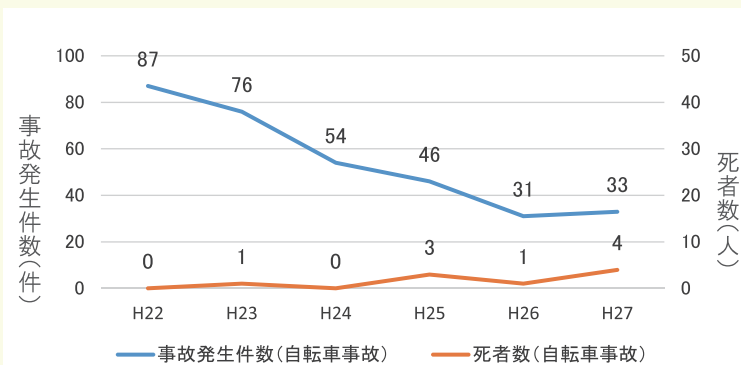


図2 自転車事故の発生件数と死者数の推移

④ 豊富な観光資源を持つ地域

真岡市では、井頭公園周辺や真岡駅(SLキューロク館)、門前地区周辺、大前神社周辺、桜町陣屋・高田山専修寺周辺、道の駅にのみやなど、市内に多くの観光資源が点在しています。

また、五行川サイクリングロード約15km、二宮宇都宮自転車道路(鬼怒川サイクリングロード)約3.5kmの整備が完了しています。

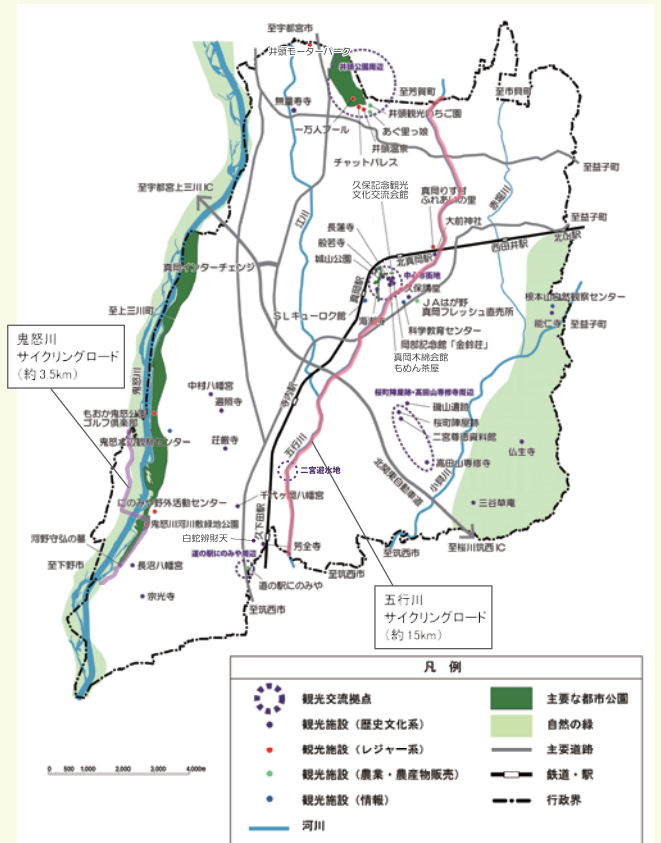
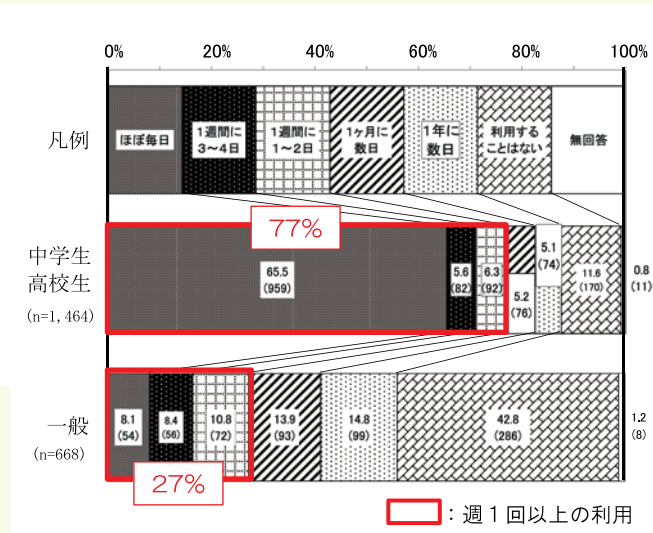


図3 真岡市の観光施設の分布とサイクリングロードの整備状況



④ 自転車の利用状況

週1回以上自転車を利用する真岡市民の割合は、一般市民は27%と低いものの、中学生・高校生は77%と高くなっています。

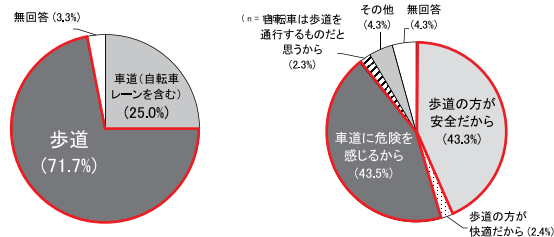


（出典：「真岡市 自転車利用に関するアンケート調査（H28）」）

図4 真岡市内の市民、中高生の自転車の利用状況

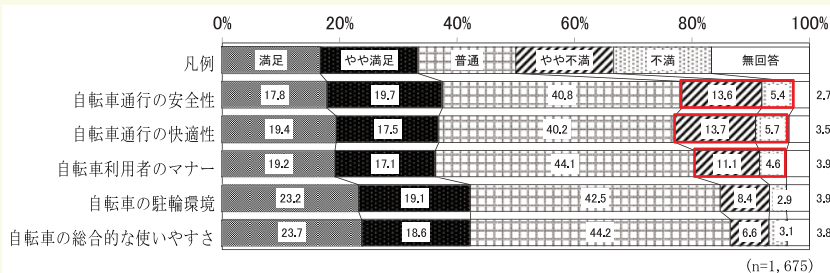
④ 自転車の安全への意識

真岡市では、自転車利用時に約7割の方が、歩道がある道路において「歩道＝安全、車道＝危険」と感じており、自転車通行空間の安全性・快適性や利用者のマナーに対して満足度が低くなっています。



（出典：「真岡市 自転車利用に関するアンケート調査（H28）」）

図5 普段の主な走行位置とその理由



（出典：「真岡市 自転車利用に関するアンケート調査（H28）」）

図6 自転車利用環境に対する満足度

基本方針・計画目標



④ 4つの柱の基本方針と計画目標

真岡市の自転車利用に関する課題の整理結果等を踏まえ、歩行者、自転車の安全性、快適性の向上に加え、健康、環境、観光振興等、真岡市の課題やニーズに応じた自転車通行空間を整備するために、自転車ネットワーク計画策定にあたっての基本方針、計画目標を設定しました。

基本方針① 安全・快適

- 歩行者、自転車、自動車が安全・快適に通行できる環境の創出
- 自転車利用ルール遵守の徹底・マナー向上

- 【計画目標】
- 自転車通行空間の整備・充実
 - 自転車等の交通安全に関する教育の充実

基本方針② つなぐ・結ぶ

- 公共交通機関との連携
- 通学・通勤・私事における自転車の有効活用

- 【計画目標】
- 公共交通機関と連携した自転車利用促進
 - 様々な目的で自転車を快適に利用できるサービスの構築

基本方針③ 楽しむ・健康

- 誰もが楽しめる自転車の環境づくり

- 【計画目標】
- サイクリングを楽しむ自転車利用環境の創出
 - 健康づくりにつながる自転車利用の促進

基本方針④ 観光

- 観光ルートの回遊性向上と自転車を楽しく乗れる環境づくり

- 【計画目標】
- 観光サイクリングを楽しむためのサービスの充実



▶ 自転車ネットワーク路線

自転車ネットワーク路線を以下のとおり選定しました。

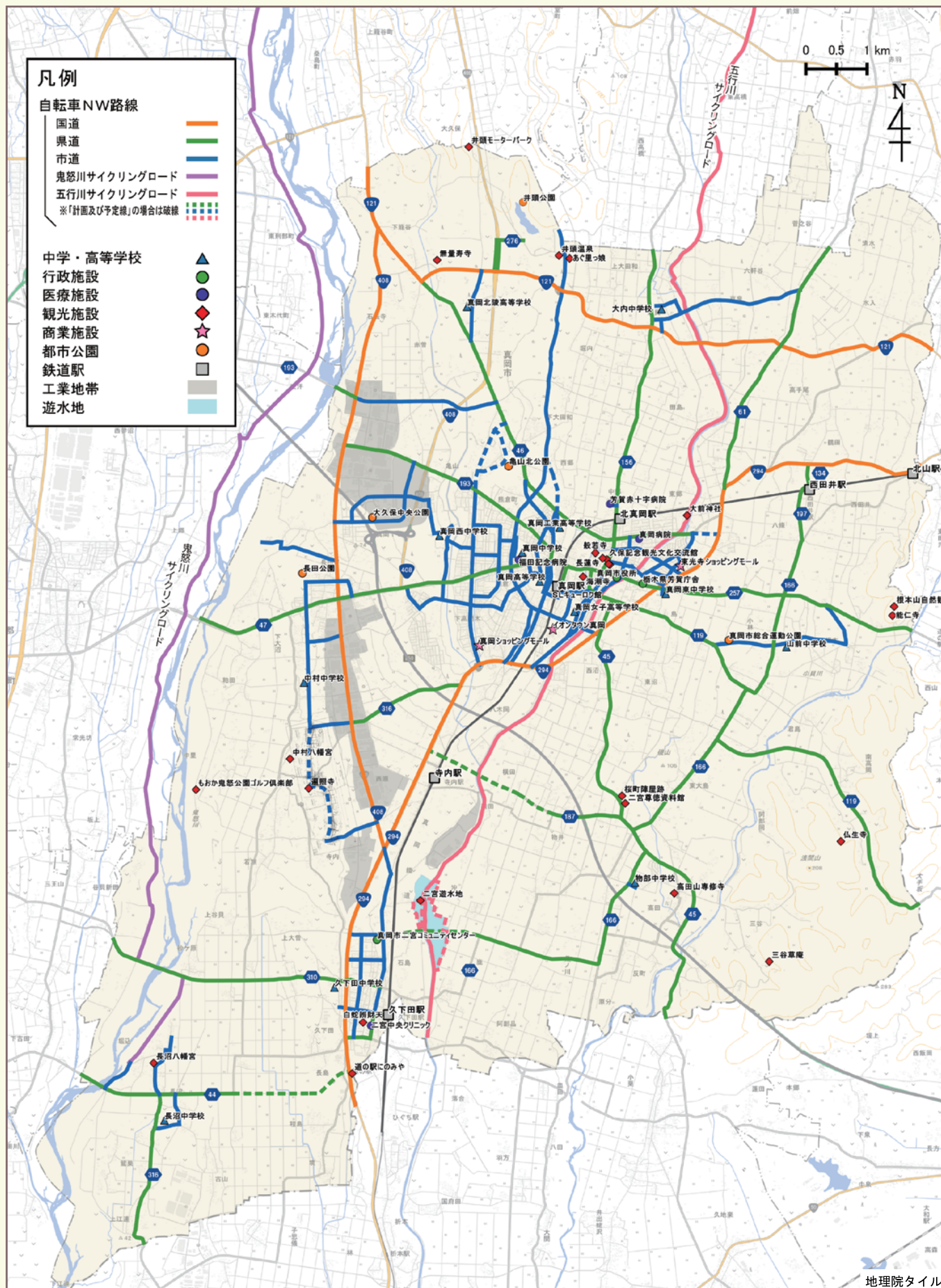


図7 真岡市の自転車ネットワーク路線(真岡市全域)



▶ 自転車通行空間の整備形態

自転車ネットワーク路線における市道の整備形態を以下のとおり選定しました。

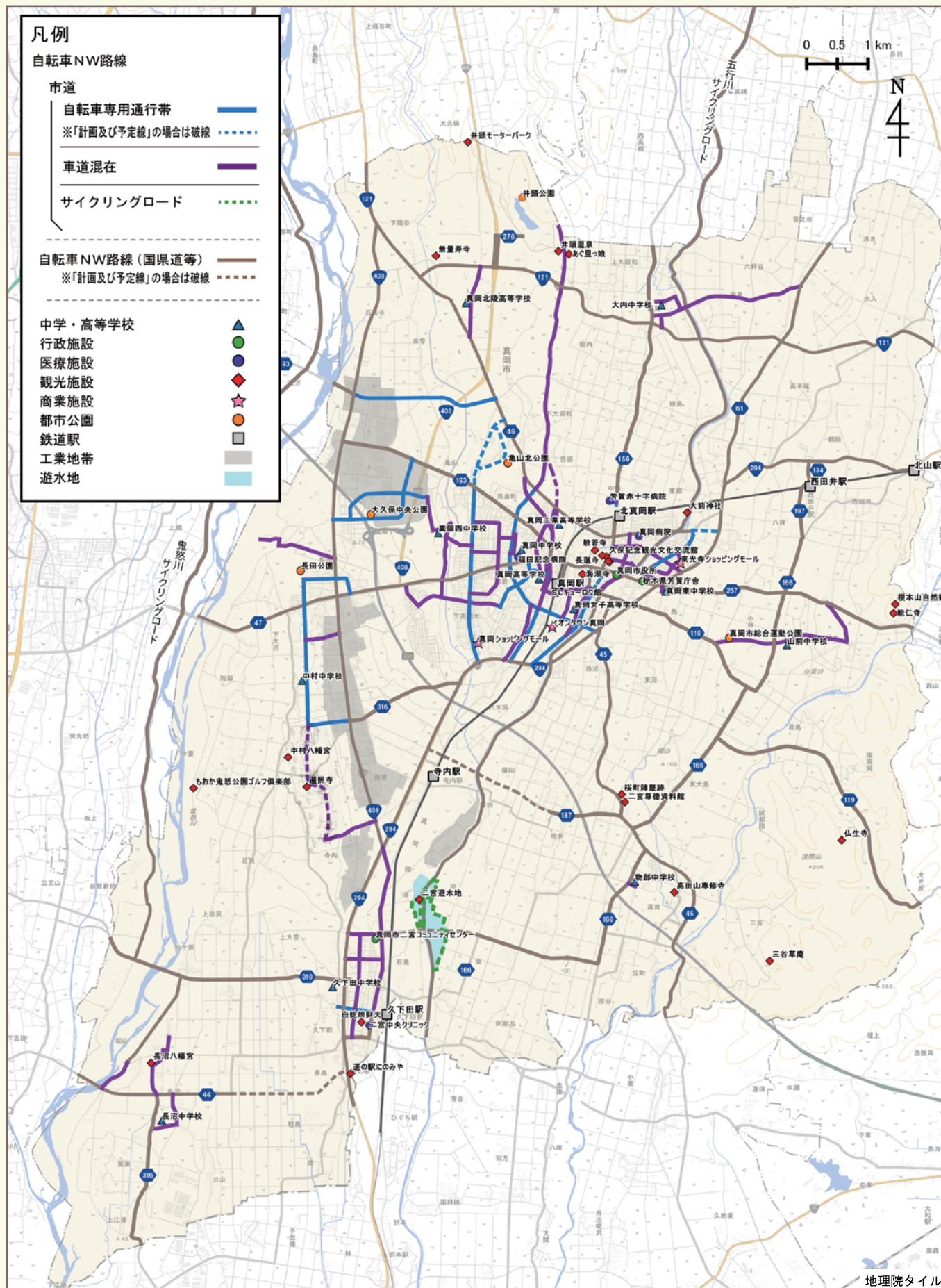


図8 真岡市の自転車ネットワーク路線の整備形態(真岡市全域)



▶ 自転車通行空間の設計

本計画では国版のガイドラインを参考にしつつ、「自転車専用通行帯」、「車道混在」による整備を促進し、早期に自転車通行空間の安全性の向上を図るものとします。

✓ 自転車専用通行帯

国版のガイドラインにおける単路部の自転車専用通行帯の考え方に基づくとともに、経済性を考慮し、単路部における自転車専用通行帯の基本形を以下に示します。

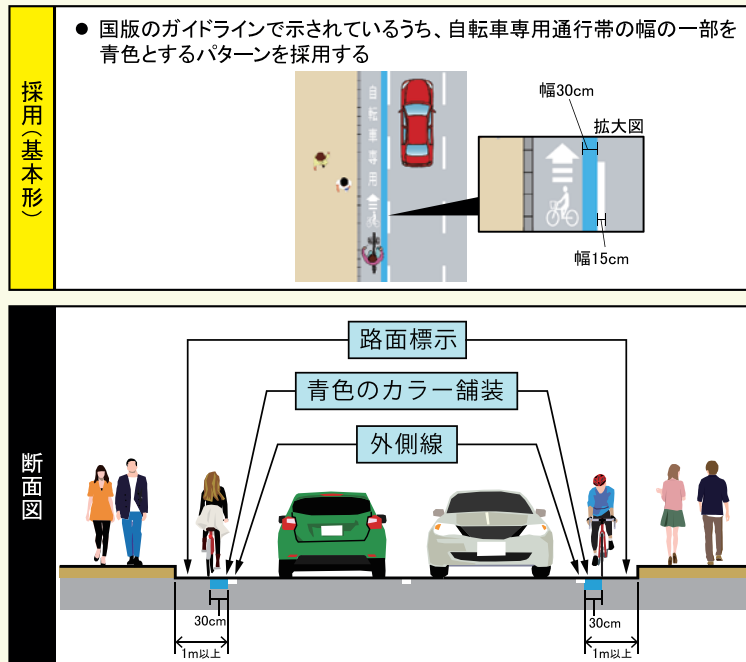


図9 自転車専用通行帯の考え方(単路部)

✓ 車道混在

国版のガイドラインにおける単路部の車道混在の考え方に基づくとともに、矢羽根の幅・間隔は国の検討で最も評価の高いものを用いることとし、単路部における車道混在の基本形を以下に示します。

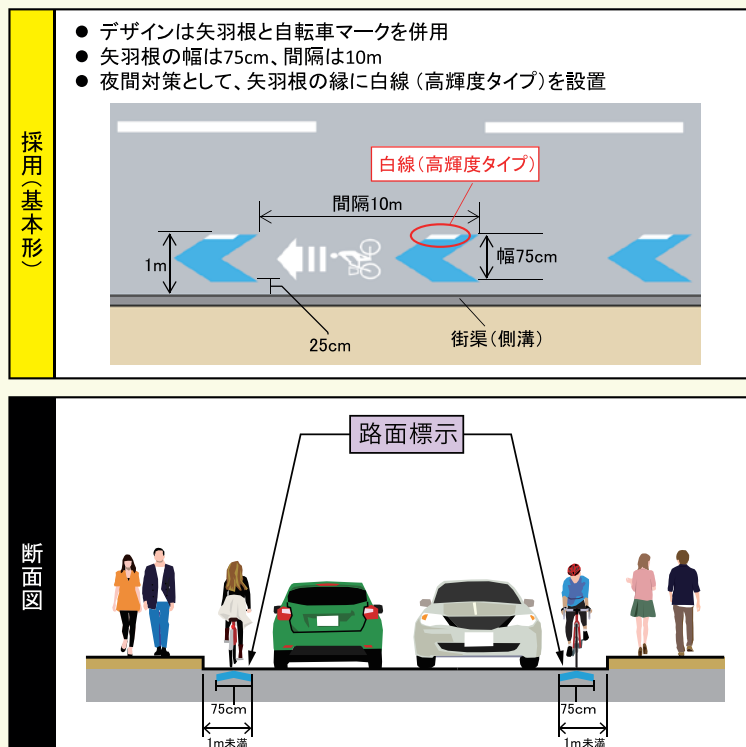


図10 車道混在の考え方(単路部)



4つの柱の基本方針と計画目標に対する取組

安全・快適

(1) 自転車通行空間の整備・充実

- 自転車通行空間整備（自転車専用通行帯・車道混在）
- 自転車通行空間における危険箇所対策
- 子どもが安全に走行練習できる乗り物エリア整備（総合運動公園内）
- 案内サインの整備
- 放置自転車対策

(2) 自転車等の交通安全に関する教育の充実

- 自転車安全教室の実施
- 自転車免許証の発行に関する支援
- 栃木県交通安全高齢者自転車大会への出場支援
- 交通指導員、学校関係者等による街頭指導
- 安全利用ガイドライン作成等
- 自転車保険の加入促進

つなぐ・結ぶ

(1) 公共交通機関と連携した自転車利用促進

- サイクルアンドライドの推進（駐輪施設の整備）

(2) 様々な目的で自転車を快適に利用できるサービスの構築

- レンタサイクルの充実・強化

楽しむ・健康

(1) サイクリングを楽しむ自転車利用環境の創出

- サイクリングロードの整備
- 休憩施設等の整備（四阿、ベンチ、トイレ、駐輪場等）

(2) 健康づくりにつながる自転車利用の促進

- 自転車通勤の推進（ノーマイカーデー）

観光

(1) 観光サイクリングを楽しむためのサービスの充実

- レンタサイクルの充実・強化
- 自転車マップの作成
- サイクリングモデルコースの設定
- 協賛店での利用特典
- 案内サインの整備



☑ 推進体制・維持管理

本計画の推進にあたっては、市、県、警察、学校関係、関係団体、地域等が相互に連携しながら、計画目標を達成するための取組を実施するとともに、適切な維持管理を行います。

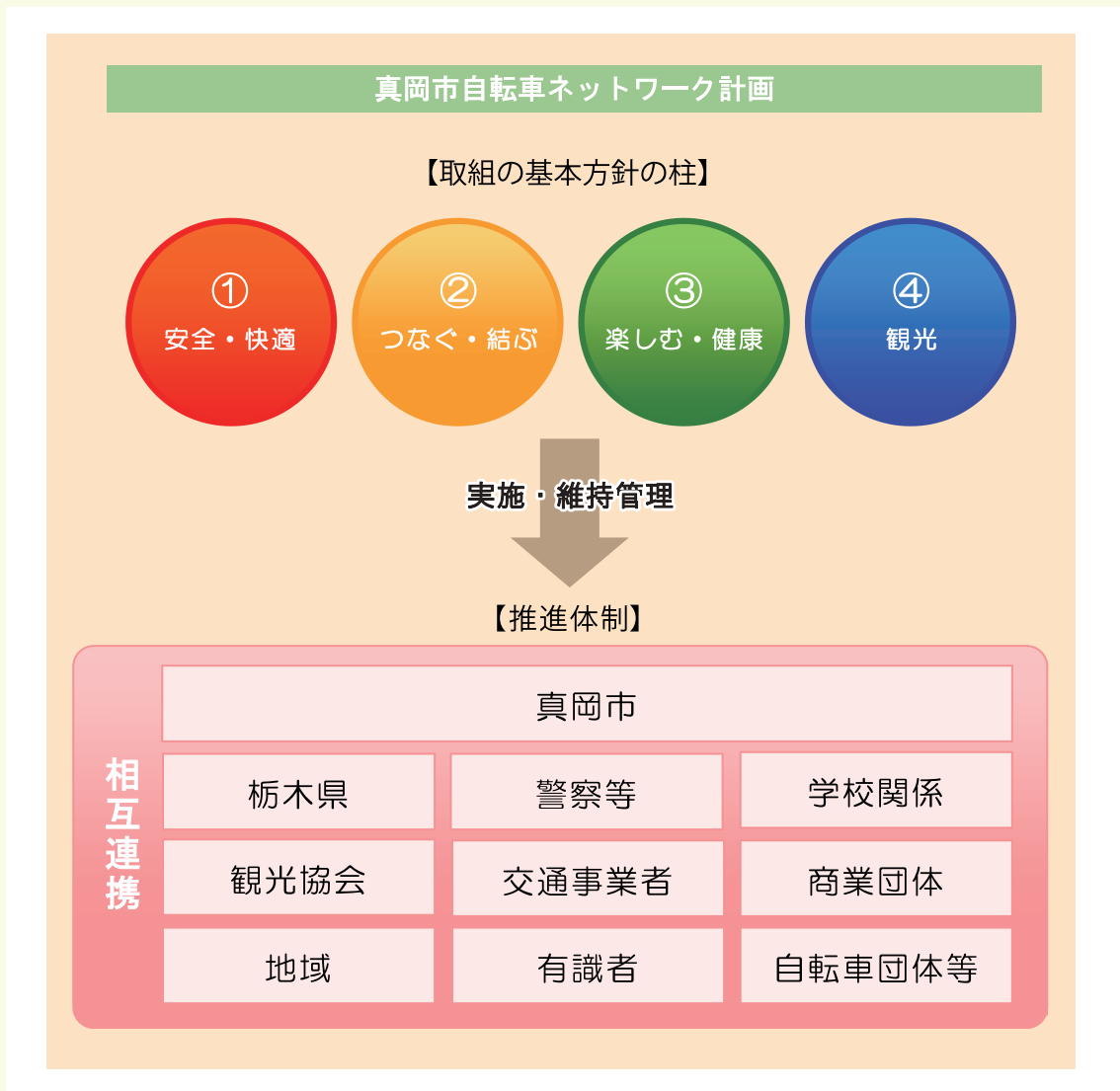


図11 推進体制・維持管理

コットベリーちゃん



🍓 お問い合わせ先 🍓

真岡市建設部建設課

〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191 番地
TEL: 0285-83-8149 FAX: 0285-83-6240

もおかびよん

